

かみみね 議会だより

185号

●平成30年 第1回定例会(3月)

P2~6 こんなことが決まりました

P7~9 予算特別委員会Q&A

P11~19 そこが聞きたい(一般質問)

ひよこ保育園かみみね入園式



入園式始まる
一園児入場
二開式のことば
三園歌合唱
四理事長の挨拶
五園長の挨拶
六来賓の祝辞
七職員紹介
八開式のことば
九園児退場

平成30年第1回定例会は、3月2日から3月16日までの15日間の会期で開催しました。

平成30年度予算は予算特別委員会を構成し、予算審議を行いました。

明治維新150年 記念さが維新 関連事業委託料

1,500万円

納富鍋島家、「鍋島夏雲殿日記」の活字化、町の偉人顕彰等

町史編さん業務委託料

610万円



新たに町史を編さんするもの

放課後補充 学習委託料

1,066万1千円

会計別予算

会計名		予算額
一般会計		115億5,397万1千円
特別会計	国民健康保険	9億5,600万9千円
	後期高齢者医療	1億384万2千円
	土地取得	1万4千円
	農業集落排水	5億4,096万1千円
	特別会計合計	16億82万6千円
総合計		131億5,479万7千円

飼い主のいない猫の 不妊去勢手術補助金

70万円

※術後の猫は耳をカットし、それが桜の花びらに似て「はぐら猫」と呼ばれる。



治療を終えた さくら猫

学校給食費補助金

4,213万5千円

英語検定料補助金

検定受検時の補助 **43万1千円**

主なものを
紹介します

平成30年度 一般会計予算

115億5,397万1千円

ふるさと納税業務委託料

2億円

ふるさと納税返礼品や送付関係業務委託

魅力発信拠点づくり事業委託料

4,286万8千円

町の積極的な情報発信を行う。

PR広告作成等業務委託料

1億5,000万円

アンテナショップ等を活用した町のPR業務を委託

チャレンジ企業支援業務委託料

1,500万円

新事業に取り組む事業者等への支援

保育所等施設整備事業補助金

ひかりこども園整備補助 **1億2,164万5千円**

認定こども園施設整備事業補助金

3,897万3千円



有害鳥獣捕獲器具購入費

259万円

イノシシ・タヌキ等の捕獲器具の購入

狩猟免許取得等補助金

75万4千円

免許取得費等の補助



平成30年1月第1回臨時会
平成30年3月第1回定例会で

29年度
一般会計補正予算可決
30年度
一般会計予算可決

こんな
ことが

決まりました

臨時会 1議案 可決
定例会 17議案 1発議 可決
3人事案 1諮問 同意

平成30年第1回臨時会は1月10日に開催され1議案を上程、慎重に審議の結果、原案通り可決されました。

平成30年第1回定例会は3月2日から3月16日までの15日間の会期で開催され、平成29年度補正予算等上程された20議案のうち17議案が原案通り可決、3件の人事案については同意し、1諮問案については適任と決定し、1発議案については原案通り可決しました。



氏名 中尾 正秀
年齢 67歳
地区 井手町
任期 平成30年4月1日から
平成34年3月31日まで

監査委員の選任

全員
同意



氏名 野口 敏雄
年齢 60歳
地区 切通
任期 平成30年4月2日から
平成33年4月1日まで

教育長の選任

全員
同意



氏名 東内 孝一
年齢 69歳
地区 西前牟田

人権擁護委員候補者の推薦

全員
同意



氏名 平川 未代
年齢 63歳
地区 井手町
任期 平成30年4月1日から
平成34年3月31日まで

教育委員会委員の選任

全員
同意

通学用バスの購入

賛成 全員

① 買い入れ動産

通学用バス

(日野ポンチヨロングブードアタイプ)

数量 1台

金額 2,242万5,442円

買い入れ相手方 有限会社三田川ダイハツ

(上峰町)

契約の締結方法 指名競争入札

② 買い入れ動産

通学用バス

(日野ポンチヨショートードアタイプ)

数量 1台

金額 2,250万4,834円

買い入れ相手方 有限会社三田川ダイハツ

(上峰町)

契約の締結方法 指名競争入札



議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

賛成 全員

(理由)

長期欠席をした場合の議員の報酬を減額する。

減額期間	割合
90日を超え180日以下の期間	100分の80
180日を超え365日以下の期間	100分の70
365日を超える期間	100分の50

ペーパーレス化にむけて先進地研修実施

去る平成30年2月19日、議会におけるタブレット導入にむけて福岡県篠栗町で研修を行いました。

近年ペーパーレス化を図るためタブレットを導入する議会が増えており上峰町議会も時代のニーズに沿って導入にむけて協議、検討を重ねていきたいと考えています。



全国議会広報コンクールに参加

「議会だより」を定例会毎に編集し皆様にお届けしていますが、全国議会広報コンクールにも参加しています。これからも読みやすい広報誌づくりに努力します。





自治功労者表彰

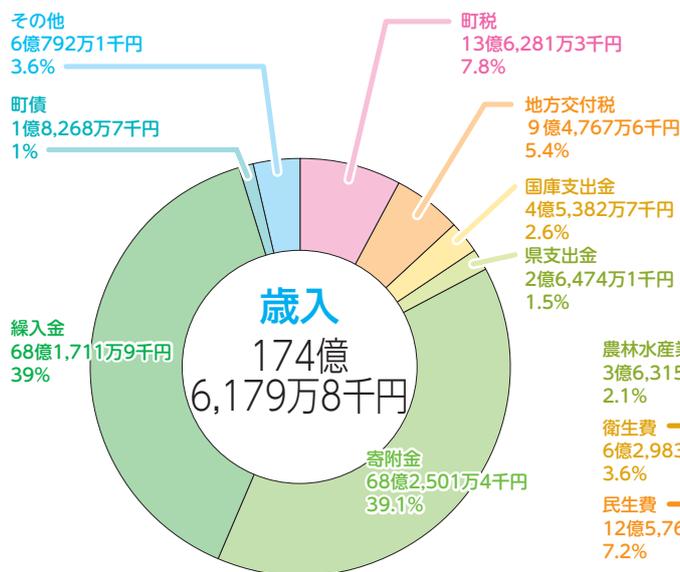


全国町村議会議長会表彰（議員15年以上）を井上正宣議員が、また佐賀県町村議会議長会表彰を吉富隆議員（議員19年以上）、及び漆原悦子議員（議員11年以上）が受賞されました。

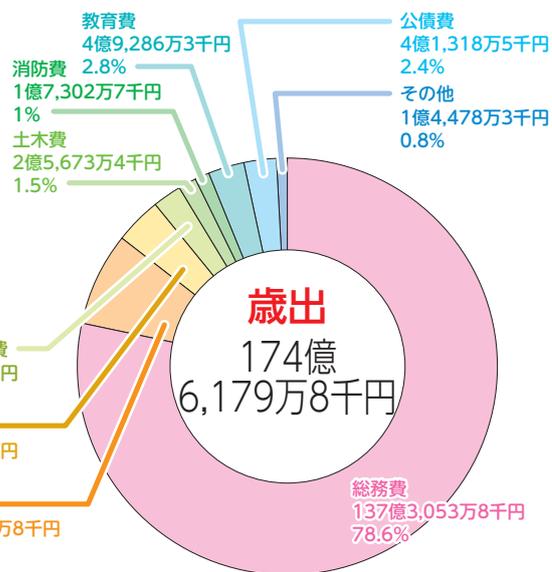
平成29年度 補正予算

51億4,569万8千円増額して、総額174億6,179万8千円となる。

一般会計



本会期までの累計



※町債とは借入金、公債費とは借入金の返済金です。
※国・県支出金は補助金です。

歳入補正予算の主なもの(増額のみ)

- ◎財政調整基金繰入金 1,459万7千円
- ◎ふるさと納税寄附金 23億円
- ◎ふるさと寄附金基金繰入金 28億6,798万3千円

歳出補正予算の主なもの(増額のみ)

- ◎ふるさと納税謝礼 25億4,500万円
- ◎ふるさと納税クレジット決済手数料 6,620万4千円
- ◎ふるさと納税業務委託料 8,236万8千円
- ◎ふるさと納税ポータルサイト利用料 1億7,492万1千円
- ◎基金積立金
 - ・ふるさと寄附金基金 24億1,497万4千円
- ◎介護・訓練等給付費 2,214万1千円

特別会計

国民健康保険特別会計

2,144万5千円を減額し、11億7,186万6千円となる

後期高齢者医療特別会計

227万1千円を増額し、1億348万円となる

農業集落排水特別会計

127万5千円を減額し、5億5,085万1千円となる

平成30年度 予算特別委員会 審査報告

平成30年3月2日の本会議において、本委員会に付託された議案第12号、平成30年度上峰町一般会計予算について、3月5日、6日、7日及び8日の4日間にわたり委員会を開催し慎重に審議いたしました。

質疑終結のあと直ちに採決を行った結果、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

なお、審議の過程での主な意見及び要望は左記のとおりです。

【総務課】

Q 防犯外灯球替等について、LEDへの取替えが進むよう計画的に予算執行を行うこと。

A 計画的な予算執行に努めLED化を進める。

Q 消防格納庫移転新築について、早急に場所選定を行うこと。

A 第3部消防格納庫の移転場所については、候補地の中より早急に場所の選定を行う。



移転予定の第3部消防格納庫

Q 消火栓ボックスの定期点検を行うこと。

A 消防団各部へ要請していく。

【まち・ひと・しごと創生室】

Q ふるさと納税寄附金について、目標額の達成に努めること。

A 引き続きふるさと納税の取り組みを推進し、目標の寄附額を達成できるよう努めたい。

Q 国際交流について、英語圏を含めた交流の推進を検討すること。

A 学校教育や地域団体等の活動の状況などを踏まえながら、英語圏を含めた国際交流について検討したい。

【住民課】

Q マイナンバー（個人番号）カードの利用促進についての周知に努めること。

A 広報紙及びHP等を活用し、利用促進に努める。

Q 家庭用電動生ゴミ処理機購入補助金について、十分なPRに努めること。

A 広報紙及びHP等を活用し、電動生ゴミ処理機のメリットや補助制度について周知する。



電動生ゴミ処理機

【産業課】

Q 狩猟免許取得等補助金についての周知に努めること。

A 広報紙、HP等を通じて周知する。

Q 捕獲された獣（猪等）の利用促進を図る。

A 近隣町の動向を見ながら、研究を重ねる。

【健康福祉課】

Q 健診について、更なる推奨を行うこと。

A 健康インセンティブ事業の導入や未受診者勧奨の強化により、受診率の向上を図りたい。

【建設課】

Q 小学校西側町道について、計画的に道路整備を行うこと。

A 工区分けを行い、計画的な事業推進に努める。



小学校西側町道

Q 町道の傷んでいる箇所が多いので、優先順位を決め早く補修すること。

A 「舗装の長寿命化修繕計画」に基づき、優先順位を決め舗装補修を実施する。

【生涯学習課】

Q 中央公園の遊具について、幼児用遊具の設置を検討すること。

A 幼児が遊べる空間創りと遊具設置を検討する。



中央公園の遊具

Q 分館長の報酬について検討するよう。

A 報酬の見直しの調査・検討を行っていく。

Q 町民センターホール舞台操作について、円滑な運営に努めるよう。

A 舞台操作については、円滑な運営体制に努める。

【教育課】

Q 支援員の処遇改善についての検討を行うこと。

A 検討する。

Q 小学校大プール改修工事設計時に、老朽化施設の撤去を検討すること。

A 旧ポンプ小屋の撤去を含めて検討する。



小学校大プール旧ポンプ小屋

Q 小、中学生の表彰受賞者について、横断幕掲示の取り組みを検討すること。

A 町民センターの横断幕掲示施設等を活用し、取り組む。

【文化課】

Q 文化財収蔵庫の建て増しについての対策を行うこと。

A 収蔵スペースの確保に向けた対策・経費について検討する。



文化財収蔵庫

Q 発掘調査委託費未納問題について、対策を講ずること。

A 刑事事件裁判判決後に情報を収集し地権者側と協議する。

Q ふるさと学館2階の展示物の充実を行うこと。

A 常設展示物及び企画展等の開催を検討し、充実を図っていく。



議長挨拶

議長 寺崎 太彦

桜の花も終わり、若葉萌える季節となりました。

平成30年度一般会計当初予算が115億5,400万円、前年度と比較すると約105%となっております。

ふるさと納税も、平成28年度約45億円から平成29年度は約65億円と増加しています。

平成30年は、町制施行30周年の記念の年です。また、佐賀県も明治維新150年を記念し博覧会が開催されています。幕末佐賀藩を率いた10代藩主鍋島直正（閑叟）は、藩政改革や産業育成を行い、最先端の科学技術を持つ藩となり明治維新を牽引した。閑叟の藩政改革を支えたひとりが納富鍋島家（下津毛）出身の家老鍋島市祐（夏雲）です。節目の年でもあり、地元の人として、誇りを感じて、町民に知ってもらいたいです。

「のらんかいバス」も、今年度中に、2台から、大型バス2台、中型バス1台、予約型乗り合いタクシー2台と、台数が増え、これまでよりも住民の利便性が高まり、便利になるでしょう。

インターネットによる議会の録画中継など情報公開に努め、町民に信頼される議会となるように取り組んでいきます。

平成30年 第1回臨時会・第1回定例会 議案賛否表

議案番号	件名	採決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
			向井 正	吉田 豊	田中 静雄	碓 勝征	漆原 悦子	井上 正宣	吉富 隆	大川 隆城	原田 希	寺崎 太彦
第1回臨時会												
1	平成29年度上峰町一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第1回定例会												
2	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
3	上峰町税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
4	上峰町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
5	上峰町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
6	上峰町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
7	上峰町産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
8	平成29年度上峰町一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
9	平成29年度上峰町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
10	平成29年度上峰町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
11	平成29年度上峰町農業集落排水特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
12	平成30年度上峰町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
13	平成30年度上峰町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
14	平成30年度上峰町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
15	平成30年度上峰町土地取得特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
16	平成30年度上峰町農業集落排水特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
17	動産の買い入れについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
18	動産の買い入れについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
19	上峰町監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
20	上峰町教育長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
21	上峰町教育委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
-	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議1	議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
-	予算特別委員会審査報告書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

○は賛成 ×は反対

*議長は賛否の意思表示をすることはできません。採決の結果、可否同数のときは議長が裁決権を行使します。(過半数議決の場合)

議長交際費の支出状況 (平成29年度下半期)

区分	支出金額	支出内容
会費	5,000円	上峰町遺族会懇談会
お礼	9,720円	振興常任委員研修受け入れ先へ
//	6,480円	総務厚生常任委員研修受け入れ先へ
//	3,240円	全議員視察研修受け入れ先へ
献花	32,400円	現職議員の子供葬儀
合計	56,840円	

議会を傍聴してみませんか

毎回、町民の皆さまに議会を傍聴していただき、ありがとうございます。
 次回の定例会の会期は、6月8日（金）から15日（金）までを予定しています。
 一般質問は11日（月）および12日（火）の予定です。詳しい日程は町ホームページでご確認ください。

一般質問

そこが聞きたい

職員の仕事について

十分反省している



吉田 豊 議員

問 町民だより3月号によると、学校給食の無償化が、あたかもふるさと納税の寄附によって実現したものと報告されている。町長の説明では、上峰町財政再建計画の順守による公債費の削減分を充当するもので恒常的に予算が捻出されるものである。との説明がなされていたが違

答 教委事務局長 議員ご指摘のとおり、今回の文書表現に配慮を欠いてしまった。ここでお詫びをし、訂正させていただきます。いただいた旨報告する。

問 この件について後日の回覧では、「誤解を招く」という表現があるが、「誤解を招く」ではなく、虚偽の報告をしたから訂正しなさい、と言っている。また訂正というのは、正誤表形式で行うのが通例ではないか。職員、少なくとも管理職諸君の緊張感が欠けているのではないか。誰が起案し、どの順序で誰が決裁したのか、それを確認する必要がある。決裁書類はどこに保管しているか。

答 創生室長 「町民だより」については、私の所管であり、決裁文書はある。

問 決裁文書があるといつことなのでコピーで良いから全議員に配布してほしい。コピーするのにどれだけの時間を喰うのか。5分もあればできるだろう。森友問題ではあるまいし、改ざんしていたのではないか。記事の問い合わせは、教育委員会となつている。このページの原稿起案は誰がしたか、起案者の印かんが無いではないか。

答 教委事務局長 特集号ということとで、校正、回覧をいただいた。原稿について誰が書いたか承知していない。



地産地消の給食風景 町民だより3月号より

農業の振興対策

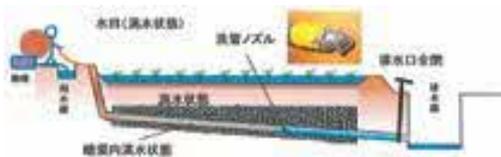
今後検討する

問 この問題を取り上げたのは、ここに出席している執行部の皆さんは、平成28年12月議会から2回の議会が否決された経過は承知のはず、3回目ですと可決

されたもの。その時の反対意見が、「ふるさと納税を当てた財源では不安定すぎて賛成できない」という理由、そういう中で成立した事案に対しそのまま決裁をした管理職の諸君、今一度志気を改め、緊張感を持って公務に専念してもらいたい。

問 上峰町の中心産業は、農業であると認識している。フォアス事業による土地の乾田化が図られているが、現在コルゲート管目詰まりのためか排水が効かないという声も聞く。コルゲート管を、動噴による掃除が報道されたが、導入試験をすべき。

答 産業課長 検討する。



(熊本県農業研究センター提供)

一般質問

議会だよりに掲載している議員の一般質問の文責は各議員にあります。



向井 正 議員

今後の地域公共交通は

気軽に乗車できる形で整備

問 通学バス・巡回バスの運行形態は。

答 健康福祉課長 通学バスは大型バス2台と中型バスの3台を使用する予定。また、施設間巡回バスは中型バスで1日4便、当面10カ所程度のバス停を予定している。

問 住民よりバス停の屋根、ベンチ等の要望があるが、改善の考えは。

答 健康福祉課長 バス運営主体が活性化協議会になるので、バス停の整備費用、

問 新公共交通網導入は随分遅れているが、導入はいつごろになるのか。

答 健康福祉課長 実際、イレギュラー

や調達関係の遅れが生じ、今の目標としては年明けぐらいの感触は持っている。

空き家対策の進捗は

新年度早々に第1回目協議会開催

問 空き家条例等の規則改正を含め、協議会の構成メンバーの改正をということだったが、その後の進捗は。

答 住民課長 協議会委員については、関係業界、団体等の委員を含める必要があると考え、1月に要綱改正を行い、今会議に費用弁償に関する議案を上げしている。今後については委員のメンバー構成を決定し、各機関へ委員の選出依頼を進め、新年度早い段階で第1回協議会を

開催する。

問 住民に空き家対策に関心を持ってもらうべく、協議会の公開、開示、議事録の公表等必要と思うが。

答 住民課長 個人情報報の許す範囲で情報公開し、協議会による対策の推進状況等、住民にきめ細かに伝えていければと考えている。

問 空き家所有者のバンク利用に対する関心も高いようだが。

答 創生室長 実際所有者が複雑であるとか、状态的に売

買、賃借に足りるものが何件あるのか数が出ていないので、

そこを見きわめた上で、バンク開設か検討したい。

鎮西山再整備の概要は

外部コンサルタント等を入れ策定作業中

問 3月末までに再整備計画の策定とのことだったが進捗は。

答 創生室長 現在、外部コンサルタント等と連携の上、再整備計画の策定作業を進めており、具体的内容については、計画の策定を待つて説明をと考えている。

答 副町長 平成30年度はしっかり設計計画を進める年だと考えている。



再整備計画中の鎮西山 いこいの森付近

航空機、墜落時の対応は大丈夫か

対応マニュアルは整備済み

問 日頃から訓練を重ね指揮命令が徹底した部隊だと感じしていたが、2月5日に墜落事故が起きた。町長の率直な感想は。

答 町長 AH64Dの墜落事故は建物、住民等に被害が生じてしまった。上峰町住民の方々は本当に不安に思っていることと思う。引き続き情報収集に努め、一刻も早く原因がわかるように早期の究明と情報公開をお願い

している。

問 原因究明と、二度と起こさせない対策を立てて、これからの支援、救助活動、訓練に生かしてほしいと思うが、事故発生時の連絡体制、救助体制、避難体制、交通整理体制等の対応マニュアルの整備は大丈夫か。

答 総務課長 今現在、整備済みである。上峰町地域防災計画の中に各関係機関が処理すべき防災

対策について定めており、議員質疑の各体制について明記している。

問 事故には消火活動がともなう。町内全域で宅地開発が進んでおり、消火栓、防火水槽の増設が必要と思うが。

答 総務課長 防火水槽については54基設置しており、現在は消火栓の設置を急いでいる。平成28年度末で123基、今年度末には5基設置、平成30年度以降も年間

5基ずつの計画で最終的には155カ所に設置する計画である。

問 事故、自然災害等で家をなくした場合のことを考えて、空き家を町が借りあげ被災者に貸しだす空き家対策を考えてほしいが。

答 住民課長 緊急時の対応として協議会等々でも検討していくことには理解する。空き家の再利用として創生室とも情報を共有していく。

いてくる。その手助けを教育委員会で行うべきか検討し、県下トップクラスの学力向上を目指すか。答えはないか。

答 教委事務局長 教育委員会の委員の皆様と学力向上のために何をすべきか、お話しするが、結論がない。教師の指導方法の工夫改善と、児童の学習適応性の向上、この両輪で学力向上を目指す。基礎・基本の定着を目指し、放課後の補充学習や昼休みの個別指導、長期休業中における学習会などさまざまな取り組みをしている。現在の取り組みを継続すること、これが県下トップクラスの学力向上を目指すことにな

がるか考える。**問** 不登校の問題について、教育委員会としてどのように対処しているのか。

答 教委事務局長 不登校の事案については、引き続き教育委員会としても、お子さんの状況、対応について情報共有しながら取り組んでいきたい。

生徒の更なる学力向上推進の考えは

現在の取り組みを継続する

問 複数の部活指導員導入の考えはないか。

答 教委事務局長 現在1名の予定だが、学校と協議しな

がら部活指導員ということで取り組んでいきたい。

問 生徒達は、なんらかのきっかけで活動的になり意欲が湧



放課後補充学習の風景

ほかに
○防音対策について
○「道の駅」構想について



田中 静雄 議員

一般質問



大川 隆城 議員

大字堤地区農地・水事業 問題、解決を急げ

県警で捜査開始、
でも長引きそうだ

問 新聞報道もされて
いるが平成30年度
の大字堤地区の事業
取扱いはどうか。ま
た問題解決にむけて
の進捗はどうか。

答 産業課長 各協議
会で全会員に対し
総会の開催、活動内
容の周知徹底をし、
総会確認として写真、
資料、議事録の提出
を求める。大字堤地
区は協議会が存在し
ないものとして事業
補助は不交付となる。

答 町長 大字堤地区
協議会役員の刑事
告訴で補助金全額返
還を求めているのは、
既に町から国県から
の平成28年度分補助
金は返還され、知事
から国県の平成27年
度以前の補助金につ
いても求める文書が
届いている。刑事・
民事両面で責任を求
めたい。県警は長く
かかる見解を示して
いる。

武道館の新築を

床面改修検討する

問 老朽化し、床面の
クッションも傷ん
でおり剣道の練習で膝
を痛める被害が出てい
る。これまでも何回と
なく改修要望があつて
きた。手狭でもあり各
武道競技に対応できる
よう広めに新築はでき
ないか。

答 生涯学習課長 床
の基礎が壊れ全体



老朽化した武道館（沈んだ床面）

が落ち施設全体の老
朽化も進んでいる。
早急対策として床全
体の基礎改修でクッ
ション性が高まるの
で床改修を検討する。

LGBTに関するイベント 開催等積極的な取り組みを

町職員、小・中教師等研修
を重ね理解度アップへ

問 LGBTに対して
の認識を高めるこ
とは人権尊重として
文科省も重要視して
各種通達で啓蒙して
いる。当該者による

不育症治療にも町の助成を

治療等一部保険適用もあり
研究課題

問 妊娠しても流産を
繰り返す、出産で
きないのを不育症と
いい、治療は保険適
用外のため高額を要
し大変と聞く。県内
では嬉野市だけが年
度に30万円を限度と
して助成されている。

町でも不妊治療同様
不育症治療の受皿づ
くりが必要ではない
か。

団体もあり行政とタ
イアップしてイベン
ト等開催されている。
我が町も是非計画し
てはどうかと思う。

答 総務課長 昨年職
員研修で取り組
み、本年は各該当団
体との交流も検討し
ていきたい。

答 健康福祉課長 民
生委員協議会に対
応を働きかけたい。

答 教委事務局長
小・中学校情報を
共有し年に何回とな
く教職員が相互理解
を深めるため研修等
取り組みたい。

答 健康福祉課長 病
態が多様であり病
態ごとの治療方針が
一定しておらずリス
ク因子の特定や治療
法も研究段階にあり
治療等が一部保険適
用もあり研究課題。

ほかに

- タウンプロモーション30年度の計画は
- 町制30周年準備委員会の進捗は
- 交通安全対策について

ふるさと納税の成果は

125億円を超える寄附となり
財源確保へ

問 ふるさと納税3年間（平成27年～29年）

平成27年11億4500万円、平成28年11億4500万円、平成29年見込11億6000万円超える）の成果を町長としてどう思うか。寄附額の50%（66億円）は返礼品へ、残は寄附者の思いの経費と町の財源になり町の台所は潤っている。寄附者への実績報告は。

答 創生室長 財源の確保や町のPR等を

目的として、平成27年度より取り組んできた。125億円を超



碓 勝征 議員

える寄附となり、相
当な成果が上がった。
PR広告掲載事業と
して、首都圏を中心
にテレビCM・交通
広告等に取り組み認
知度向上や寄附金の
増に大きく寄与した。

寄附者への実績報告
は、町のホームページ
へ掲載し、実績や
使い道を公表してい
る。年賀状にも寄附
金の使い道の事例を
書いて送っている。

答 町長 九州経済論
の大学教授による

と、この実績は「町

民が12000人増加し
たような現象に例
えられるとのこと。
全国からの寄附が大
変大きな影響を与え、

重要な財源確保にな
り、町の財政健全化
に貢献した。引き続
きふるさと納税に力
を注いでいく。

坊所三上の 変則5差路改良は

新年度に計画見直し取り組む

問

施政方針で坊所三
上の変則5差路改
良に取り組むと示さ
れた内容は。

請願を受けて、振
興委員会等々で3案
が提案されたが、こ
の変則5差路が解消
されるような3案で
なかった。危険道路
解消できる交差点ら
しき交差点づくり計
画を立て、副町長は
事業等々については
先駆者であり、町長・
副町長の指示を受け
て請願に対応しても
らいたい。

答

建設課長 平成23
年12月に請願採択
を受け、平成24年度
概略設計を行ってお
り、今日現在、事業
に着手できていない。
抜本的な計画案の見
直しを行い新年度に
実施していく。長年
の懸案道路であり、
ご指摘の通り交差点
等を考慮しながら取
り組みたい。

側溝改修は

中の尾団地北の排水不良解消

問 生活に密着した側
溝道路改修が大事
だ、改修計画は。

答 建設課長 住民生
活に多大な悪影響
を及ぼしている箇所

から実施。本年度は、
中の尾団地北の排水
不良解消に取り組む。
他3カ所予定してい
る。



中の尾団地側溝改修

ほかに

- 子どもの貧困について
- 中学校の外部指導者導入
- 子ども110番の家のぼり旗の管理は



吉富 隆 議員

ふるさと納税関連および 契約について

町長権限でできる

問 今現在、ふるさと納税関連の業者への契約内容は。

答 創生室長 平成29年度の一般社団法人起立工商協会とのふるさと納税関連の契約実績については、まず、業務委託契約である。業務委託契約が1億536万476円で、ふるさと納税ウェブマーケティング支援業務委託契約が、1,555万200円である。ふるさと納税CRM導入業務契約が、1,

522万800円で、ふるさと納税のお礼の品の調達および配送に係る契約を締結している。報償費、つまり返礼品の調達、それから配送に係る契約、その契約の形態については、単価契約を結んでいる。契約のおおむね、60%程度を報償費に充てる。当初予算においては、40億円想定で報償費の予算としていたが、その後1月の議会において

は、想定を60億に増額している。3月議会の補正については、68億円としている。おおむね60%程度の報償費予算を設定している。

問 これらの契約は、すべて高額の随意契約だが、そのガイドラインはあるのか。

答 創生室長 ガイドラインということでは、町で独自で定めたものはないと認識しているが、地方自治法および町の財



ふるさと納税PRポスター

務規則において、競争入札に付すること、が不利な場合、入札に適さない場合は、随意契約という形態が認められている。今回の案件については、ふるさと納税のこの業務趣旨、目的が町のPR、それから財源の確保となっている。町のPRということであれば、やはり、プロモーション観光との取り組みと一体的に進めていく必要がある。魅力発信拠点づくり事業等々、観光事業を受託している。一般社団法人起立工商協会の方に随意契約をしたものである。

問 高額な金額については、随意契約はできないと思うが。

答 町長 随意契約はできる。

※CRMとは
顧客管理システム

道の駅建設の進捗は

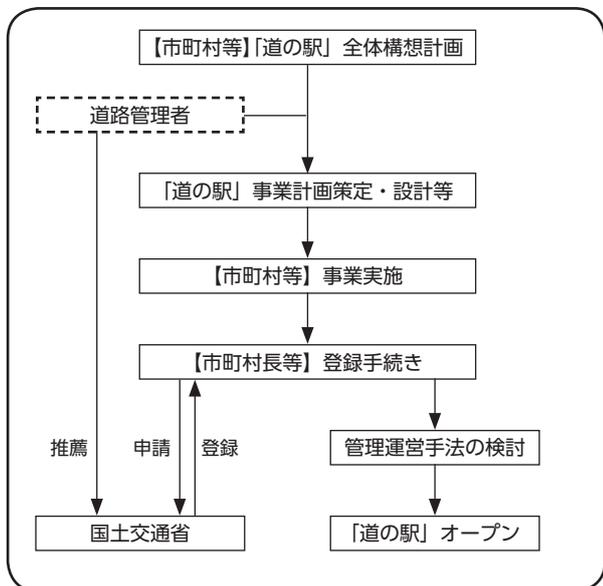
基本計画策定中

問 道の駅建設に賛成の一人として、上峰町の農業の活性化につながる道の駅の建設を願うが、進捗状況は。

答 創生室長 道の駅の整備については、昨年9月に基本構想を策定し、現在、外部コンサル等と連携の上、基本計画の

策定作業を進めているところである。農業の振興、特に6次産業化を念頭において、交流拠点として整備することで検討を進めているところである。

要望 町の農業振興に、なるような、道の駅の建設をお願いする。



「道の駅」整備フロー（国土交通省が示す標準的フロー）

武道館はなぜ改修しないのか

今後、検討

問

床全体が下がればいいが、真ん中から西側が斜めになっている。そういう所で練習をしたらどうなるか？使用中止するかどうか、子どもたち、そして近隣の先生たちも来て足首を痛めている。改修するか全面的に建てかえるしかない。なぜ改修もしなかったのか。

答

生涯学習課長 武道場の床全面を基礎から全部やり直



井上 正宣 議員

して、床のクッション性を上げたいと思っている。足腰に負担がかからないよう床全体を見越しての計画を思っている。1階と2階に分けて種目ができるような2階建ての武道場が理想的。

先ほど提案されたような北側まで新たにつくる方法も一つの選択肢だと思う。今後、これから検討していきたいと思っている。

答

町長 武道館を新設するような合意形成が庁内ではまだできておらず、そういう議論は現在ない。教育委員会の中で合意形成がされ、計画がつけられた後に町執行部とも折衝があつて、計画に乗せて対応していくことになる。

肥前さが幕末維新博覧会の協力は

本町でも目的に賛同し協力

問

維新をとおして活躍された佐賀県人の功績を知る機会が大人から子どもまである。

答

文化課長 明治維新150年目の記念の今年、幕末、維新时期を中心とした佐賀の偉業や偉人を顕彰し、偉業をなした遂げた先人の志を今に生かし、



傾いた武道館の床

江迎、前牟田の幹線水路にガードレール

財政当局、上司とも検討を重ねる

問

江迎、前牟田の幹線水路は安全・安心のまちづくりのために、ガードレールはぜひ必要だと思っている。今年設置が来年度設置されるのかお聞きしたい。

答

建設課長 江迎の幹線水路が500m、前牟田の幹線水路が530m程度あり、1m当たりガードレールを設置すると1,600

00円程度の費用が必要となってくる。江迎幹線水路で1,600万円、前牟田幹線水路で大体1,700万円かかる。必要性については十分認識しているが、今後、財政当局等と予算要求の中で、上司とも検討を重ねながら、設置時期については検討していく。



野菊の里南の幹線水路

一般質問



原田 希 議員

町制30周年記念の計画は

各課で検討

問 町制施行30周年記念の行事については、これから計画という話のようだが、急いで進めてもらいたい。

答 総務課長 現在、各課より30周年記念の事業案を取りまとめた所。今後は、急ぎ検討委員会の開催に努めていく。

問 どの課が主体となっていて、全体でつくり上げるイメージだったが、それぞ

れの課で時期もばらばらに事業をやられるということか。

答 総務課長 各課から予算を含む事業計画が出ているので、各課でその日程に行っていく形。総務課は、文化祭に合わせ30周年記念式典を予定している。

米多坊所線の歩道確保を

検討の必要がある

問 この路線については、途中まで水路にふたがされ、歩道が確保されている。歩道がない区間で事故になりかけた危険な状況が何度もあったと聞く。残りの区間も歩道の確保が出来るのか。

答 建設課長 水路上部の床板設置については、平成24年度に約160m程度設置。これは、西峰2号線



床板設置が望まれる米多坊所線水路

沿いの宅地開発が進み、児童・生徒や一般住民の歩行者が増えたため、歩道として利用するように整備したものを。今後、西峰東西3号線及び4号線の整備が完了すると、同様に宅地開発が進行することは十分考えられ、歩行者保護の観点からも床板設置について検討する必要があると認識している。

給食運営の現状は

情報共有し進める

問 学校給食運営については、学校・家庭・町の役割を明確にし、協力して運営していくことが必要だと考えるが、現在の状況は。

答 教委事務局長 運営規則により、学校給食の運営は教育委員会が統括し、指導及び助言により小・中学校長が管理運営をする。

や学校全体の責任を負うものということ。教育委員会が様々な問題に対して責任を負わないということではない。

問 様々な問題で、教育委員会の対応が、誠実さに欠けると思うことが多くあった。今後は、学校および保護者と協議し、連携し進めていただきたい。

答 教委事務局長 しっかりと連携しながら、情報共有して進めていく。

答 町長 責任を全体的に持つかという質問だと思うが、教育委員会が指導助言をする以上、管理運営をする学校校長

運転免許証返納者への対応は

運賃割引制度がある

問 運転免許証自主返納者の現状および交通手段として通学福祉バス利用の対応は。

答 健康福祉課長 町内で運転免許証を返納された方は、平成29年4月から平成30年2月の期間で26名。対応策として、通学福祉バスの一般利用運賃は100円だが、運転免許経歴書を提示された場合は半額の50円という措置を昨年7月から開始している。

問 運賃割引の利用の仕方は。

答 健康福祉課長 通学福祉バス利用時に運転手の方に運転免許経歴書を提示していただく。また、バス・タクシー協会でもタクシー運賃を1割引きにする制度があるので、あわせて周知できればと思っています。



のらんかいバス

学校給食

協議・連携し取り組む

問 昨年7月より小・中学校の給食費が無料化となったが、学校給食の現状と校区外通学者への対応はどうなっているか。

答 教委事務局長 学校栄養士の栄養管理のもと、毎日の調理業務と緊張感を持って実施している。学校教育の中、食育教育として、しっかり取り組んでいく。校区外通学者については、学校給食に対する補助というところで完全給食・ミルク給食に係る費用を補助、現在17件の申請がある。まだ申請されていない方がいるので、制度案内など保護者・学校と連携をとり、実情に応じた給食費の把握に努

めている。

問 納品チェックなどは事務補1人でされているのか。また、食材納入業者の報告は保護者にされているか。

答 教委事務局長 会計に係る臨時職員が小学校事務室において、管理栄養士・臨時の栄養士の3人で伝票チェックをしている。契約食材納入業者の案内は、年度当初の給食だよりの中でしていないかと思うので、情報を流すことも連携し務めていきたい。

問 新1年生が入学式の翌日から給食を食べて下校することが、保護者の要望で実施されていた。なぜ知らない間に廃止したのか。

答 教委事務局長 学校給食は年間190日と決まっている。その中で、4月の学期初めの扱い方について学校で取り決められていたので、教育委員会から指示することはなく把握していなかった。学校と確認をして、保護者の望む方向で協議を

させていただければと思う。

問 定住促進、住みやすい町づくりのためにもしっかり協議し、いい方向に持っていくっていただきたい。

答 教委事務局長 引き続き議論しながら進めていく。



小学校給食室

- ほかに
- 高齢者福祉
 - ふるさと納税
 - 通学福祉バス



漆原 悦子 議員



がんばれ! 上中 部活動紹介 12

コンピュータ部

顧問 杠 幸世

部長 大里太志

副部長 永石喜久



僕たちコンピュータ部は、3年生5名・2年生2名で年2回行われるパソコン検定の合格に向けて、日々タイピング技術やコンピュータ知識の習得に励んでいます。入部したてのころは、タイピング技術もパソコンについての知識もまったくない、模擬試験でもうまくいかなことばかりでした。しかし、毎日友だちと競い合いながらタイピングの練習をしたり、模擬試験のわからないところを教え合いながら、だんだんとできるようになってきました。

また、僕たちのモットーは「縁の下の力持ち!」です。先生方や友だちからの

文書やポスター作成の依頼は喜んで引き受けます。そして、長期休業中のイングリッシュガーデンのお世話や清掃活動にも積極的に取り組んでいます。これからも、がんばっていきますので、応援よろしくお願いします。

行事への参加

1月～3月

- 1月4日 上峰町新年賀詞交歓会
- 1月7日 上峰町成人式
- 1月14日 消防団出初式
- 1月17日 郡内全議員研修会
- 2月4日 上峰町社会福祉大会
- 2月19日 全議員視察研修
- 2月24日 認定こども園かみみね幼稚園音楽発表会
- 3月9日 上峰中学校卒業式
- 3月16日 上峰小学校卒業式



▲町木 つばき



▲町花 サルビア

昭和61年2月に町木、町花として制定されました。皆さんに親しんでいただきたいと思ひます。

あしがき

町制施行30周年、節目の第1回、上峰町定例議会も無事終了しました。

3月といえば卒業式、上峰小・中学校の多くの生徒達が別れを惜しみつつ、志を持って可能性をひめた新しい道へと巣立ってゆきました。はつらつとした生徒達も、やがて成人となり数年後には、さまざまな分野で活躍し、これからの上峰町を背負っていつてくれることを楽しみにしています。

(田中)

議会だより

広報編集委員会

- 委員長 大川 隆城
- 副委員長 田中 静雄
- 委員 原田 希
- 委員 吉田 正
- 委員 向井 正